

次の文章を読み、あとの問に答えよ。

(50点)

1 大納言\*成通卿の鞠まりは、凡夫ばんぶのしわざにはあらざりけり。さまざまにふしぎに **A** 事のみありける中に、鞠を高く蹴

あぐる事、1 すべての人には\*三かさまさりたりけり。ある日、鞠を高くあげられたりけるに、辻風の物を吹き **a** あぐる

やうに、鶯とび・鳥からす付きたりと **B** ほどに、空にあがりて雲の中に入りて、見えずしてとどまりにけり。不思議なりける

ことなり。父の大納言、\*そのかみ仏師を召して仏を造らせて **b** むられたりける時、\*はしの御み簾すだれをあげて格子のもとを

5 よせかけられたりけるに、成通卿いまだ若かりけるに、庭にて鞠をあげられけるが、鞠、格子と簾すだれの中に入りけるに続

きて飛びいられるが、父の前、\*無骨なりければ、鞠を足にのせて、その\*板敷を踏まずして、\*やまがらの\*もどり

うつやうに飛びかへられたりける、 **X** にあらざりけり。「我が\*一期に、このとんばうがへり一度なり」とぞ自称せ

られける。おほかたこの大納言は、かく若くより早業はやわざを好み給ひて、\*築地ついでちの\*はら、もしは\*檜垣ひがきのはらなどをも走ら

れけり。また屋の上に臥ふして\*棟むねよりころびて軒のきにては\*安座やすざせらるるをりも **c** ありけり。父の卿、 **d** 制止しづめせられれど

10 も、かなはず。この事を鳥羽院聞こしめして、御制止ありけれども、なほやまざりければ、御前に **e** 召よして、「汝が早態はやむぎ

を好むは、何の\*詮しるかある」と仰せ下されければ、「さしたる詮は候はず。ただし\*拝趨はいすうの間、 **C** 召よし具し候ふ\*僮どう

僕ぼく、一兩人には **f** 過ぎすず候ふ。雨の降り候ふ日、一人は笠をさして、\*車の簾すだれを持ちあぐる者の候はぬ時、車の\*轆なぐさ

土に置きながら、片手に左右の\*袴はかまをとり、片手には簾すだれを持ちあげて飛び乗り候へば、 **2** さらに装束まゝかも損こぜず、奉公第

一の用なり」と申されければ、その後は、 **3** 院、御制止なかりけり。

(『古今著聞集』より)

**注**

- \* 成通 || 藤原成通。 \* 三かさ || 三倍。 \* そのかみ || その昔。 \* はし || 家の中で外側に最も近いところ。
- \* 無骨 || 無作法。 \* 板敷 || 格子の外側の縁側の板。 \* やまがら || 山雀すずめ。 \* もどり || 宙返り。 \* 一期 || 一生涯。
- \* 築地 || 泥土を積み上げて造った塀。 \* はら || 側面。 \* 檜垣 || 檜ひのきの薄い板を編んで張った垣根。 \* 棟 || 屋根の中央の一番高いところ。 \* 安座 || 安定した姿勢で座ること。 \* 詮 || ききめ。 かい。 \* 拝趨 || 宮中に参上する。
- \* 僮僕 || 召使いの少年。 \* 車の簾 || 牛車の乗り込み口に下げる簾。 \* 轅 || 牛車で、牛と車をつなぐ二本の長い棒。「轅を土に置」くと、車の前方が下向きになるため、後ろの乗り込み口が高くなる。 \* 袴をとり || 着物の裾すそをたくし持つ。

問一 傍線 a ~ f の動詞の (i) 活用の種類、(ii) 活用形として最適なものを、それぞれ次の中から選び、記号を記せ (同じ記号を何度用いてもよい)。(12点)

- (i) ア 四段活用                      イ 上一段活用                      ウ 上二段活用                      エ 下一段活用                      オ 下二段活用
- カ 力行変格活用                      キ サ行変格活用                      ク ナ行変格活用                      ケ ラ行変格活用
- (ii) ア 未然形                      イ 連用形                      ウ 終止形                      エ 連体形                      オ 已然形                      カ 命令形

問二 **A** ~ **C** に最適なものをそれぞれ次の語群の中から一つずつ選び、適切な活用形に直して記せ。(6点)

- A ありがたし・うしろめたし・すさまじ・よしなし
- B かしづく・なやむ・ののしる・やつす
- C いたづらなり・かたくななり・すすろなり・わづかなり

問三 傍線 1・2 を口語訳せよ。(10点)

## 問四

傍線 3 とあるが、それはなぜか。三十五字以内で以下の空欄を埋め、説明を完成させよ。

(12点)

□ という成通の返答に納得したから。

## 問五

□ X に最適な語句を文中から抜き出して記せ。

(5点)

## 問六

問題文を内容の上から二つに分ける場合、後半はどこから始まるか。後半の最初の五字を文中から抜き出して記せ

(句読点等も一字として数える)。

(5点)